

全区で前年度下回る

市民団体調査 財政難などで削減

二十三区の食糧費は九六年度決算で計約八億八千万円と、九四年度段階に比べ四割近く減ったことが二十一日、市民団体の調査でわかった。会議費問題で都が約八億円を返還したり各区とも厳しい財政難に追い込まれたりと、大幅な削減が図られたと見られる。市民団体では、今回の調査結果を全区に示し、さらに削減を求めていく考えだ。

調査したのは、情報公開問題などを追及する市民団体「平成維新を実現する都民の会」。区の担当者が直接提示した数字や情報公開条例を利用し、いずれも区議会を除く区長部局に限って集計した。

それによると、全区の食糧費の決算額は九四年度が十三億八千七百七十六万九千九百九十九円、九六年度が十三億三千七百七十四万四千円だった。区別で見ると、九六年度は九四年度に比べて、江戸川区の九は九四年度の63%に圧縮され、千三万円、大田区の六千

23区の食糧費の推移

※区民1人当たりの負担額は96年度

区名	94年度 (万円)	96年度 (万円)	区民1人 当たりの 負担額 (円)
江戸川	1億2777	9013	149
大田	8167	6997	108
足立	9584	6537	111
江新	1億0666	6201	97
板橋	8521	6072	165
品川	8803	5867	208
北	8901	5519	109
並田	6076	4581	141
代港	9091	4051	121
杉千	6712	3804	74
飾馬	4186	3366	805
田	6784	3060	185
葛	4030	2974	69
練世	3904	2665	42
墨文	3924	2572	35
目	4646	2456	112
豊	3523	2418	141
洲	3263	2165	89
荒中	4060	1945	79
中	3205	1855	96
中	2845	1790	99
中	2569	1380	188
中	2528	651	21
23区計	13億8776	8億7949	平均109

九百九十七万円、台東区の六千五百三十七万円など。少ないのは中野区の六百五十一万円、中央区の千三百八十四万円、荒川区の千七百九十九万円などだった。

食糧費は、食料品の飲食代のほか、式典や審議会での弁当、茶会代なども含まれる。しかし、予算上は、他の消耗品と同じ「需用費」の中に組み込まれ、決算書にも食糧費名目では記載されないケースが多い。

今回の調査でも、決算書に食糧費名目で明記されていたのは荒川区など少数で、ほとんどの区は記載がなかった。江戸川区では、食糧費名目の支出そのものが存在せず、「賄い費」のうち「行事・給食費賄い」を除いた分を事実上の食糧費として集計したという。中央区は支出の一部を除いた数字だ。

一方、九四・九六年度の

比較で見ると、削減幅が最も大きい中野区では七割以上のカット。港北、豊島、墨田、中央区なども半減している。

区民一人当たりの負担額を算出すると、千代田区の八百五十九円が最高で、中野区の二十一円が最低。九六年度の一般会計に占める割合も千代田区が0.07%で最も高い数字を示した。

同会の治田桂四郎代表は「区の担当者はおおむね調査に協力的で、作業はスムーズに進んだ」と評価したが、「区によって改善の努力がばらつきがあり、まだ

十分は見直しできていない区もある」と分析。今回の結果を各区に提示し、さらに改善をよう訴えている。

二十三区では、三年前に市民団体などの調査でさまざまな食糧費の支出問題が表面化して以来、ほとんどの区で金額の削減をうたい、領収書のチェックなど請求・精算手続きを強化してきた。

だが昨年、港区で九六年度までの四年間に約二千六百万円、豊島区でも九五年度までの三年間に約四百百万円の不正支出があったことがわかった。

読売新聞朝刊1998年4月22号

が新たに発覚。いずれも区を返還する事態も起る。職員らが不正支出分と利子た。

食料費37%減る

94-96年度の23区市民団体が調査

二十三区の食糧費の支出状況について、市民団体の調査をした市民団体が二十一日、結果を発表した。「平成維新を実現する都民の会」が発表した。調査は、各區からの聞き取りや住居支出による決算資料、情報公開請求で得た資料などをもとに実施。区によって食糧費の定義が明確でないため、「二倍に比べて五割減り、約三七%減っていることが分かった。

できたといえる。

それによると、二十三区の食糧費は九四年度が約十三億八千八百万円だったのが、九五年度は約十三億三千四百万円、九六年度は約八億八千万円と大幅に減った。

調査結果について、中野区の担当者は「防犯訓練、選挙など、いっぺんの必要な部分を減らしてカットした」と説明する。一方、大田区の担当者は「社会的な負担は減らしている、区としては努力している」とやや困惑気味だった。

各區に比べて、最も削減率が高かったのが中野区で、二年間で七四・二%も減った。北区、港区、豊島区なども約一割に削減率が一番小さかったのが大田区で、一四・三%減にとどまった。千代田区、墨田区なども削減率が小さかった。